令和６年度庁議報告事項	
第１７回庁議（２０２４年１１月２５日）	都市基盤部交通政策課

【件名】新たな公共交通サービスの導入について

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、令和６年度実証運行の利用実績等を踏まえ、中間評価をまとめたので以下のとおり報告する。

１　経緯

令和４年　４月　事業者（関東バス株式会社）決定
　　７月　中野区交通政策推進協議会（以下「協議会」という。）において関係者協議
　１０月　実証運行開始
令和５年　１月　協議会において関係者協議（一時中断について）
　　３月　実証運行の一時中断
　　６月　協議会において関係者協議（実証運行再開について）
　　９月　実証運行再開
令和６年　２月　協議会において関係者協議（令和６年度の運行継続について）
　１０月　協議会において関係者協議（令和６年度の中間評価について）

２　利用実績、収支状況、中間評価等（別紙１参照）

中間評価結果より令和６年９月までの収支率は目標値を超えているため、令和７年９月まで実証運行を継続する。

３　令和７年１０月以降について

実証運行の期間について最長で令和７年９月までと想定していたが、今後は以下の点を踏まえ令和７年１０月以降の運行について検討を進める。

（１）地域の積極的な利用による利用者数の順調な増加、地域の移動手段としての定着、今後の利用状況
（２）地域、運行事業者、区の各々の役割等
（３）本事業が提供する区民サービスと、他の施策を講じた場合との比較結果（クロスセクター効果検証：比較結果は別紙２のとおり）

４　今後のスケジュール

令和７年　１月頃　　中野区交通政策推進協議会において関係者協議
　　３月３１日　令和６年度実証運行期間最終日
　　４月　１日　令和７年度実証運行開始予定
　　６月頃　　令和６年度実証運行の評価等

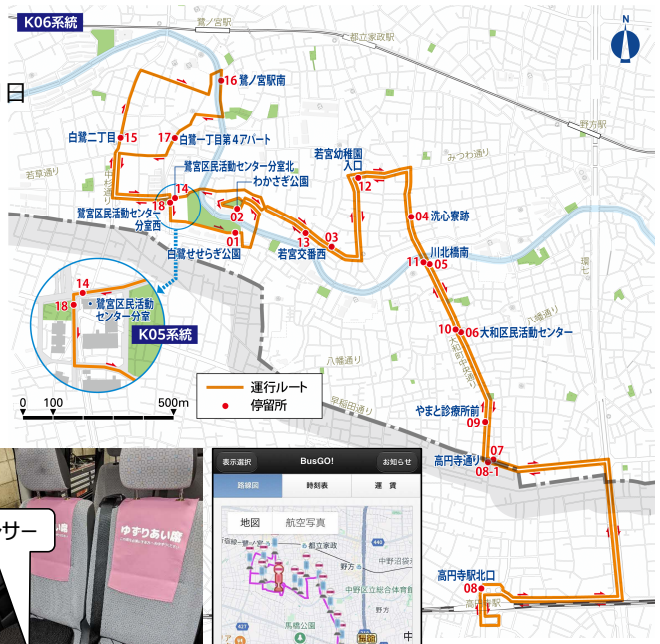
新たな公共交通サービスの導入について

別紙1

1 運行概要

①運行計画

運行期間　令和5年9月19日～令和7年3月31日
始　　発　8:45(01白鷺せせらぎ公園発)
終　　発　17:55(01白鷺せせらぎ公園発)
本　　数　全日11便　K05系統:5便
　　K06系統:6便
車　　両　ワゴンタイプ、乗客定員10人
運　　賃　大人200円、小児100円
　　高齢者割引証(70歳以上)の提示で100円引き



②乗り残し解消に向けた取り組み

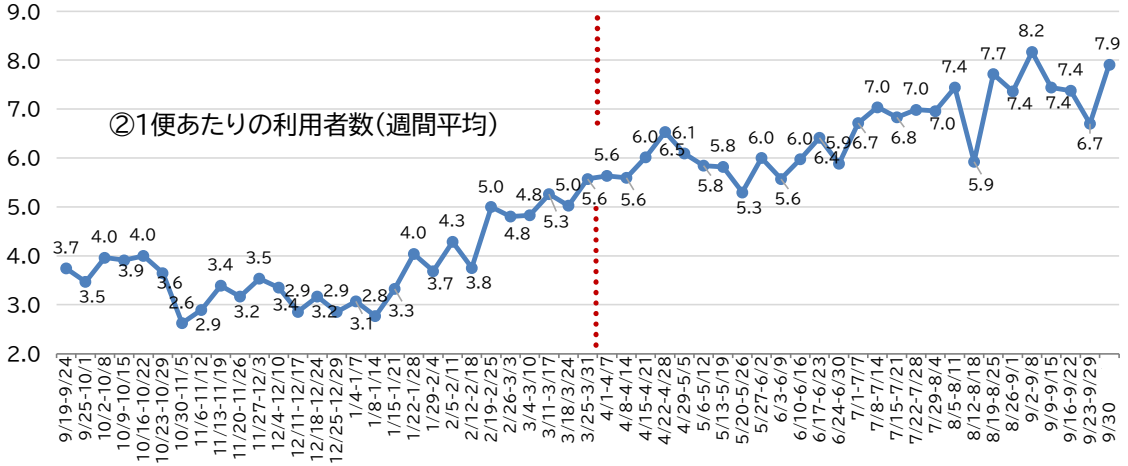
車内に座面センサーを導入し、Web地図上で走行位置と混雑状況を提供

- 乗り残しの解消と利用者数の増加
- データ取得により、乗降人数の常時把握と検証

スマホ版画面
BusGO!バスロケーションシステム
(http://kanto.bus-go.com)

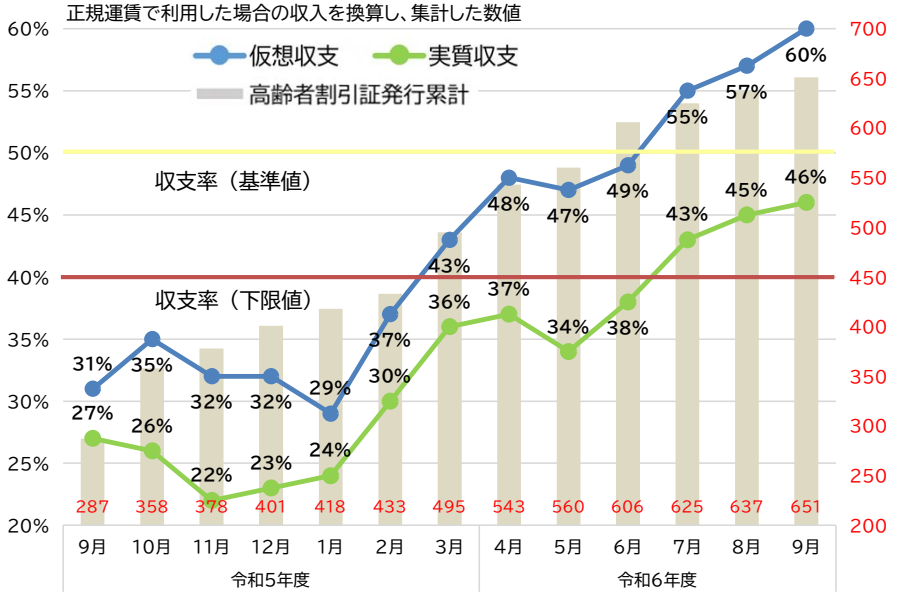
2 利用実績

	令和５年度	令和６年度（9月30日まで）
①利用者数 平日	5，327人（3．8人/便）	9，017人（6．6人/便）
土休日	2，582人（3．8人/便）	4，109人（6．3人/便）
合計	7，909人（3．8人/便）	13，126人（6．5人/便）

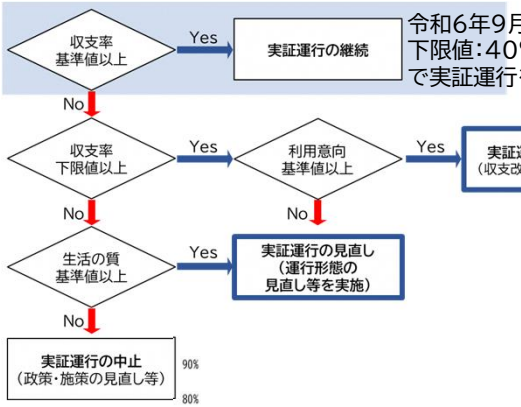


3 収支状況

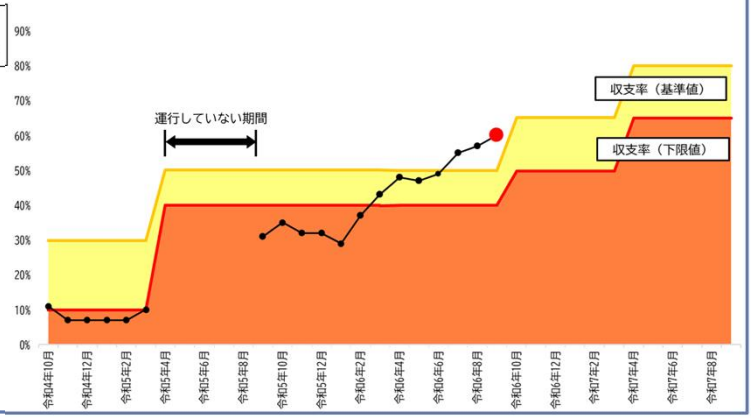
仮想収支…高齢者割引証(区が政策的に実施しているもの)利用者が正規運賃で利用した場合の収入を換算し、集計した数値



4 中間評価(収支率の検証)



令和6年9月までの収支率の目標値(基準値:50%、下限値:40%)を超えているため、令和7年9月まで実証運行を継続する。



別紙２

参考クロスセクター効果検証

１　クロスセクター効果とは

地域公共交通を代替するのに追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる地域公共交通の多面的な効果

⇒中野区実証運行が運行していない場合に必要となる、多様な行政部門の施策の費用を試算

【出典】
地域公共交通の有する多面的な効果（クロスセクター効果）算出ガイドライン標準版
著者：クロスセクター効果研究会
発行者：一般財団法人地域公共交通総合研究所

２　実証運行経費との比較結果

令和6年度実績(4～7月)をもとに年間利用者を
大人15千人/年、高齢者10千人/年、
R6利用者アンケートをもとに利用目的割合を
通勤･通学:13.3%　買い物:58.0%
通院:17.0%　その他:11.7%
として、代替施策に必要となる費用を算出

通勤･通学
通勤･通学用送迎バスの運行　10,000千円
通勤･通学用タクシー券配布　4,500千円

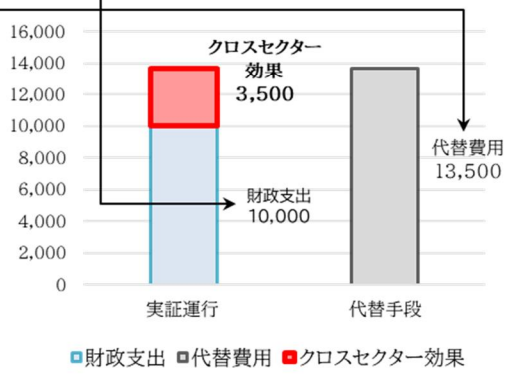
医療
病院送迎貸切バスの運行　9,000千円
通院のためのタクシー券配布　5,500千円
往診のための費用　50,000千円

商業
買い物送迎貸切バスの運行　16,000千円
買い物のためのタクシー券配布　18,500千円
移動販売の実施　3,500千円

安価な手段を選択

実証運行の年間支出想定
支出※1:14,000千円　収入※2:4,000千円
財政支出:10,000千円

※1　現在の運行計画で1年間運行した際の経費
※2　R6.4～7の利用実績より推計した年間収入



実証運行を実施しない場合、試算上、財政支出は約３，５００千円増加する